

町営里山スキー場

存続を求める請願 は本会議で

賛成3：反対6
不採択



平成24年12月5日

議員の一般質問に対する教育長の答弁の中で、25年度から里山スキー場の運営は行わないことを表明。

平成24年12月6日

執行部から町振興実施計画の説明会の中で、25年度から里山スキー場の運営を行わない旨の説明を受ける。

平成25年2月20日

町営里山スキー場の存続を求める請願を受理

平成25年5月27日

総務文教常任委員会での審査で町営里山スキー場の存続を求める請願を不採択とする。

平成25年3月13日

3月定例会において町営里山スキー場の存続を求める請願を継続審査とする。

平成25年6月7日

常任委員会での審査結果報告を受け、6月定例会本会議においても町営里山スキー場の存続を求める請願を不採択とする。

子供たちや町民から雪とふれあう機会を奪わず、和雪・利雪・親雪の心を抱かせられる町営里山スキー場の存続を求める請願書

◎請願者：里山スキー場存続と活性化を考える会
代表 飛渡 正美

◎紹介議員：遠藤 宏司

請願の要旨

1. 子供たちや町民から雪とふれあう機会を奪わず、和雪・利雪・親雪の心を抱かせられる町営里山スキー場を存続すること。
2. 町内外からの協力を募り、利用向上に最大限努めること。
3. いろいろな方々の意見や協力を仰ぎ、維持運営していくための方策を模索していく最大限の努力をすること。

総務文教常任委員会審査結果報告

里山スキー場の存続を求める請願については、3月定例会から総務文教常任委員会に審査付託を受けて慎重に審査しました。3月定例会ではスキー場はどうあるべきかより多くの町民の意見やさまざまな角度から検討すべきとして継続審査となりました。その間、議員とスキー連盟や里山スキー場存続と活性化を考える会のみなさんとの意見交換、懇談会などで積極的な話し合いも続けてきました。

また、今年度の「地域住民との対話集会」では、夜間のスキー場運営は賛成できない意見や、「町政懇話会」では将来の子どものためにウィンタースポーツの施設として残すべきという意見も出ました。3月定例会においてスキー場関連予算がゼロである25年度予算案を全員賛成で可決していることも考慮すべきと考えました。意見が出つくしたうえで採決となり、本委員会では採択に賛成が1、反対が2という結果によって本請願は不採択とすべきものと決定しました。

3月定例会において「町民の意見を聴いたうえで結論を出すべき」として継続審査となった「町営里山スキー場の存続を求める請願書」について、4月に開催した「地域住民との対話集会」などで町民の意見を聴き、常任委員会の審査を経て、本会議で審査を行いました。本会議における審査では、議員間で議論を行う自由討議を実施。全議員が自分の考えを述べ議論しました。採決では、賛成少数で不採択となりましたが、民間での運営を含め、今後の利活用について早急に検討すべきとの意見が多く出されました。

